

2018 C 日程 LS [0217]

受験番号

2018 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験
民事訴訟法・刑事訴訟法
(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】

以下の各〔設問〕に答えなさい。

〔設問1〕

当事者能力のない者を当事者として言い渡され、確定した判決の効力について説明しなさい。

〔設問2〕

適時提出主義について説明しなさい。

〔設問3〕

第三者の訴訟担当について説明しなさい。

専門論文試験 刑事訴訟法

【問題】

以下の各〔設問〕に答えなさい。

〔設問 1〕

警察官が走行中の自動車を止める措置を行える根拠と限界について説明しなさい（道路交通法による場合を除く）。

〔設問 2〕

刑事訴訟法 39 条の趣旨、各項の関係について説明しなさい。

〔設問 3〕

刑事訴訟法 328 条の意義と適用の範囲について説明しなさい。